

平成30年度事業報告書

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

総括

平成30年度の運航実績は、29年度に対しトレーニングフライトはほぼ横ばいであったが、体験飛行はやや減少した。これは、7月後半に実施した「2018電動模型航空機世界選手権」開催に伴う運航の制限や9月6日に発生した北海道胆振東部地震などの影響によるものと思われる。

27年度から実施しているグライダー技術のレベル向上のための講習会は、今年度4回目を行い、内容に充実が図られ、ある程度の成果が見られたが、参加者層の拡大が見られず、さらに意欲的に取り組むためのプログラム作りをする必要がある。

ヴィンテージグライダーに関しては、複座グライダーMG19を用いた体験飛行およびイベントでの展示飛行の実施、またイベントでのMG19とミニモアの地上展示を行い、一般の市民にヴィンテージグライダーのPRを行った。また、「2018電動模型航空機世界選手権」や「2018北海道スカイスポーツフェアイン滝川」などを通じて、広く一般市民にスカイスポーツのアピールを行った。今後も、様々な機会を活用してグライダースポーツのPRを行う。

安全運航に関しては、27年度に策定した安全対策を遵守し、事故の発生を防止することができた。今後も現状の体制を維持し、事故の抑止に努める。しかし、事故はいかなる状況下で発生するか予測できないことから、危険予知を図り、二度と事故を起こさないことを最優先にして、事業に取り組んでいく。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダーの運航は、4月17日（火）から11月10日（土）まで実施した。運航実績は、以下のとおりであった。（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・運航日数：154日（12日減）
- ・運航割合（運航した日数/運航期間の日数）：74%（5%減）
- ・グライダーの飛行回数：2,612回（143回減）
- ・グライダーの飛行時間：1,390時間（43時間減）
- ・モーターグライダーの飛行回数：248回（91回減）
- ・モーターグライダーの飛行時間：261時間（126時間減）

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクールを実施した。

- ・サマートレーニングコース
実施回数：7回
延べ参加人数：334名（69名増）
飛行回数：859回（88回増）
飛行時間：585時間（154時間増）
- ・ウィークリーコース（シーズン中の平日に随時実施）
飛行日数：55日（1日増）
飛行回数：151回（42回減）
飛行時間：151時間（1時間増）
- ・ウィークエンドコース（シーズン中の土日祝日）
飛行日数：56日間（2日減）
飛行回数：1,098回（108回減）
飛行時間：692時間（162時間減）

② グライダーキャンプ

- ・大阪大学等OB会
7月30日（月）～8月3日（金）
参加人数：のべ87名（31人増）
飛行回数：132回（42回増）
飛行時間：111時間（27時間増）

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

- 自社機を含む常駐機：28機（1機減）
- 外来機：7機（1機増）
- 出張整備：4機（2機増）

また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務

を実施した。

検査件数：25件（5件減）

3. 特定操縦技能審査を実施した。

審査件数：27名（滑空機25名、軽飛行機2名）

4. 「滝川クロスカントリーステップアップキャンプ2018」を実施した。

日本のグライダースポーツをより盛んにするための方策の一つとして、各パイロットがローカルフライトからクロスカントリーフライトに思考を切り替えるための具体的ノウハウを吸収できるステップアップキャンプを実施した。そのために、イギリスより世界各地でクロスカントリーのコーチングを行っているグライダーパイロットを招聘した。

なお、スポーツ振興くじ助成金（日本スポーツ振興センター）および（一財）石狩川振興財団支援助成事業助成金を活用した。

開催期間：9月 8日（土）～9月16日（日）

9月22日（土）～9月30日（日）

参加人数：延べ38名

飛行回数：27回

飛行時間：54時間

5. 各種受験に関する指導を行った。

① 航空従事者技能証明等試験の実地試験を受け入れた。

実地試験には、3名受験した。（1名減）

10月9日（火）～10日（水）

自家用（上滑）1名、事業用（上滑）1名、操縦教育証明（滑）1名が受験し、合格した。

② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験

クラブ会員及びスクール参加者に対して、8件実施した。（前年同数）

A章 5件

銅章 1件

滞空5時間 2件

6. アシスタントインストラクター制度を活用して、操縦教員を養成した。

インストラクターの養成を推進する奨励制度を活用して、2名に対して支援を行い、1名が操縦教育証明実地試験に合格した。

飛行回数：15回（8回増）

飛行時間：5時間27分（2時間11分増）

7. 各種講習会を実施した。

① 北海道滑空協会が開催した、北海道滑空協会指導者講習会を主管した。

テーマ：異常姿勢からの回復及び基礎曲技飛行

主催：北海道滑空協会

協力：（公社）北海道スカイスports協会

実施日：10月28日（日）、11月4日（日）、11月10日（土）

講師：SATAインストラクター

参加人数：5名

飛行回数：5回

講習内容：スピンをはじめとした異常姿勢からの回復操作および様々な姿勢を経験するための基礎的な曲技飛行の実地体験を行った。

② スカイスportsに係る講習会に講師を派遣した。

・JSA航空安全講習会

月日：12月8日（土）、2月23日（土）

場所：静岡県、岡山県

主催：（公社）日本滑空協会

講演テーマ：「実は日本で役立つ！、海外でグライダーフライトを安全に楽しむエッセンス」

講師：日口裕二

参加人数：28名（静岡）、20名（岡山）

・ロータリークラブ合同例会講話

日時：9月15日（土） 15:00～15:30

場所：ホテルスエヒロ

講演テーマ：「大空に翔ける夢～滝川市におけるスカイスポーツ振興の歩みと今後～」

講師：日口裕二

参加者数：120名

8. 国際交流事業の推進

- ① 海外に飛行教員2名を派遣し、滑空技術の向上のための情報交換を行う。
 - ・派遣者：日口裕二（ニュージーランド選手権2019出場）
 - 期間：平成30年12月26日（木）～平成31年1月17日（水）
 - 派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場
 - ・派遣者：清水拓智
 - 期間：平成31年1月13日～1月26日
 - 派遣先：オーストラリア国ベナラ滑空場
- ② オーストラリア国より曳航機パイロット2名を招聘した。
 - ・招聘者：ロイド・バウム氏（82日間）
 - 5月31日（木）～8月20日（月）
 - ジョン・ブライス氏（62日間）
 - 8月15日（水）～10月15日（月）
- ③ グライダーによるクロスカントリーフライトへのステップアップのためのノウハウを得るため、世界各地でクロスカントリーのコーチングを行っているグライダーパイロットを招聘した。
 - ・招聘者：G. デール氏（イギリス国）
 - 9月1日（土）～10月2日（火）
- ④ 日本の航空従事者技能証明の取得を目的として操縦練習を希望する、海外の愛好家の受入れを行った。内1名は、単独飛行ができるまで技量が向上した。
 - 受入人数：3名（1名増）
 - 出身国：中華民国、中華人民共和国

9. 国内滑空団体との連携

全国クラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて、意見交換を行った。

- ・第6回全国クラブミーティング
- 幹事クラブ：NPO九州グライダースポーツ連盟
- 開催期間：10月13日（土）～14日（日）
- 開催場所：久住高原荘／久住滑空場（大分県）
- 参加者：16団体20名（当協会から、日口裕二理事が出席）

II スカイスポーツ啓発事業（公益目的事業2）

1. 市内・外の学校を対象とした体験学習等の受入

- ① 市内全小学校および新十津川小の4～6年生までの内、1学年について、7月6日（金）～10月26日（金）までの間で、軽飛行機またはモーターグライダーによる体験搭乗を実施し、空から眺める郷土について、学習する場を提供した。
 - 受入小学校数：4校（2校減）
 - 体験搭乗者数：159名（92名減）
- ② 市内外の小中学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。
 - 受入小学校数：3校（2校減）
 - 見学者数：66名（62名減）
- ③ 滝川市内の中学校で行われているキャリア教育推進事業の一環として、職場体験の生徒を受け入れた。
 - 受入中学校数：1校（前年同数）
 - 受入生徒数：3名（2名減）
- ④ 國學院大學短期大学部から、初めてのインターンシップ受入れを行った。
 - 受入期間：8月18日（土）～9月1日（土）
 - 受入者数：1名

2. こどもの日特別企画「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内の子供たちを対象に、軽飛行機およびモーターグライダーの体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。

開催日：5月5日（土）

体験飛行応募総数：142名（26名増）

体験者数：44名（7名減）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

- ① ジュニアグライダークラブは、実質的な活動は行っていないため、希望者2名は、青少年会員として活動した。
- ② 今年度参加した青少年会員は6名（前年同数）であった。全員、積極的に活動に参加し、順調に技倆が向上した。

4. ユース会員の支援

学生および大学を卒業した後も、社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。

ユース会員数：47名（7名増）

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

- ① ヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー（MG19）の耐空証明を取得し、2018北海道スカイスポーツフェアイン滝川において、デモフライトを行った。
- ② 2018北海道スカイスポーツフェアイン滝川において、ヴィンテージグライダー、シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア及びMG19の地上展示を行った。
- ③ 模型世界選手権参加者を対象として、MG19の体験飛行会を行った。
期間：7月27日（金）
参加者数：4名
飛行回数：4回
飛行時間：59分
- ④ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会は、実施しなかった。
- ⑤ VGC等世界のヴィンテージグライダー団体とは、引き続き情報交換を行った。
- ⑥ 航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーに全国の愛好家から寄贈された関係資料の、分類・整理・公開充実を図った。

6. 航空青少年団体との連携

航空青少年団体の受け入れはなかった。

7. 航空祭支援

道内各地で開催された航空イベントに参加し、グライダースポーツおよび「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図った。

- ① 第30回札幌航空ページェント
開催日：8月12日（日）
場所：札幌飛行場 陸上自衛隊丘珠駐屯地（札幌市）
主催：北海道航空協会（公社）北海道スカイスポーツ協会
支援内容：FOXおよび曳航機を派遣し、展示飛行（曲技）及び地上展示を行った。
来場者数：34,500名
- ② 千歳基地航空祭
開催日：7月22日（日）
場所：航空自衛隊千歳基地
主催：航空自衛隊
支援内容：モーターグライダー（ASW-28E）の地上展示
来場者数：84,000名

8. スカイパーク施設の管理・運営

- ・平成29年4月1日に滝川市と「滝川市航空科学センターの管理運営に関する協定」を締結し、施設の指定管理業務を行った。

指定期間：平成29年4月1日～平成32年3月31日

III 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

1. 観光客等の受入

- ① 海外から、インターネットやメールでの体験搭乗申し込みを受け入れた。
外国人体験搭乗者数：91名（香港、台湾、USA、マカオ、スウェーデン、シンガポール、イギリス、ロシア、タイ、スイス、韓国）（4名減）
- ② 2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会が作成した地域の飲食店マップやリストを活用し、スカイパークに来場される海外からの観光客に滝川市内の飲食店の紹介を行った。

- ③ H26年度に美唄・富良野・ニセコのスカイスポーツ体験事業者と合同で作成したパンフレットを、イベント会場、リリエントール、札幌駅の観光案内所および滝川市内各施設等で配布した。また、これらの体験事業者が天候等により、体験飛行ができなかった際に、体験希望者の受入れを行った。
- ④ インターネットを経由して、旅行会社から126名の体験搭乗の依頼があった。
(47名減)

2. グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。
体験者数：160名（85名減）
実施期間：10月18日(木)～10月21日（日）の4日間
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
参加人数：557名（75名減）
実施期間：4月15日（土）～11月10日（土）
- ③ 滝川市ふるさと納税におけるお礼の品として、グライダー体験飛行を提供し、寄附をされた方々に搭乗券(2年有効)を送付した。
体験者数：6名（2名減）
- ④ 滝川一心会の体験飛行会の受け入れ
参加人数：5名（3名減）
実施期間：9月30日（日）、11月3日（土）

3. 「2018電動模型航空機世界選手権」開催への協力

- ① 電動模型航空機の世界選手権が開催されるに当たって、受入れのための支援を行った。
開催日：7月19日(木)～27日(金)
主管：2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会
場所：たきかわスカイパーク
選手権主催：(一財)日本航空協会
支援内容：「2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会」の構成スタッフとしての活動
参加者数：選手・スタッフ 140名
来場者 1,600名
- ② 「2018電動模型航空機世界選手権」の開催を支援するため、「2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会」（委員長：中島健会長）を平成29年9月5日に立ち上げ（第1回会議）、積極的な支援を行ったが、今年度は、2回会議を開催し、具体的な支援策の検討、及び成果の確認を行った。
第2回会議：6月29日（金）
第3回会議：10月24日（水）
- ③ 上記世界選手権及び北海道スカイスポーツフェアのPRを図るため、PRイベントを実施した。
主催：2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会
場所：札幌駅前通地下歩行空間
来場者数：750名
事業内容：グライダー、模型航空機の展示、来場者へのスカイスポーツの概要説明

4. 「2018北海道スカイスポーツフェアイン滝川」の開催

- 開催日：7月29日（日）
- 場所：たきかわスカイパーク
- 主催：（公社）北海道スカイスポーツ協会
- 共催：（公社）滝川スカイスポーツ振興協会
滝川市
- イベント内容
 - ・グライダーによる曲技飛行
 - ・ヴィンテージグライダーの飛行展示
 - ・グライダーの地上展示
 - ・スポーツカイト、ラジコン飛行機の演技飛行
 - ・グライダー、軽飛行機、パラグライダーの体験飛行
 - ・モーターグライダーによる空中菓子まき
 - ・熱気球係留フライト体験
 - ・ヘリコプター体験搭乗
 - ・地上アトラクション

スカイスポーツ教室、模擬競技会（紙飛行機、竹とんぼ、凧）
 滝川躍進太鼓演奏
 滝川消防署消防車展示
 陸上自衛隊滝川駐屯地車両展示
 ・グルメ、物販コーナー
 参加者数：5,000名

5. 「そらぶちキッズキャンプ」の支援

（公財）そらぶちキッズキャンプを支援するため、同キャンプが実施している「そらぶち野菜ボックス・チャリティ販売」のおたのしみ品の一つとして、体験搭乗券を提供した。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業(公益目的事業4)

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

- ① ホームページ、掲示板、フェイスブックによる情報発信に努めた。
- ② 滝川クロスカントリーステップアップキャンプ2018（前掲I 4.）専用のホームページ/ブログを作成し、キャンプの情報発信を行った。また、全国グライダークラブミーティング（前掲I 9.）の際に、国内外のグライダークラブとの情報交換、連携を図った。

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等を、計画通り実施した。

開局期間：4月9日（月）～11月16日（金）

VI 利用者への施設提供事業(その他の事業1)

たきかわスカイパーク利用者への各種の施設提供を、計画通り実施した。

宿泊施設の利用状況

- ・利用者数：延べ223名（13名減）
- ・延べ宿泊日数：812日（11日増）
- ・1人当たりの平均宿泊日数：3.6日/名（0.2日/名増）
- ・施設稼働率：23%（1%増）

航空安全

ヒヤリ・ハット情報の取り纏め・開示やそれらの情報で明らかになった課題を解決するための対策を講じると同時に、会員等にその都度的確なアドバイスをすることで、

無事故日数 1,401 日

を達成した。

管理部門

1. 会員

非会員のサマートレーニングコース参加者に、入会の勧誘を行った。また、体験搭乗者、イベント等の来場者や動態博物館見学者等に、グライダー活動の説明を行い、勧誘に努めた。

会員の入退会状況

2019年3月31日現在

会員種別		H26	H27	H28	H29	H30
正会員	個人	151 7 26	135 10 26	121 8 7	114 8 9	113 6 7
	法人	16 0 0	17 1 0	17 0 0	17 0 0	18 1 0
特別会員	個人	4 0 0	3 0 1	3 0 0	3 0 0	3 0 0

	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		173	157	143	136	136

小数字 左:入会者数、右:退会者数

名誉会員		2	2	1	1	1
賛助会員	個人	11	11	20	25	25
	法人	6	6	3	3	2
連絡会員		1	1	0	0	0
ユース会員		22	27	34	39	44
青少年会員		2	2	3	6	6
総計		217	206	204	210	214

2. 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日:平成30年5月1日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:

決議事項:新規加入会員及び退会者、平成29年度事業報告書及び付属明細書の承認、平成29年度財務諸表及び関連書類の承認、積立資産の積立状況及び取崩方針の承認、役員を選任の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席9名

議決に必要な出席監事の数1名、出席1名、欠席1名

・第2回理事会

開催月日:平成30年5月25日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:理事の職務の執行状況、新規加入会員及び退会者

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名

議決に必要な出席監事の数1名、出席1名、欠席1名

・定時総会

開催月日:平成30年5月25日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成29年度事業報告書及び付属明細書、平成30年度事業計画及び収支予算

決議事項:平成30年度財務諸表および関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等:定足数66、出席会員議決数96、出席理事8名、出席監事2名

・臨時理事会(書面議決)

開催月日:平成30年9月15日(土)

決議事項:「平成28年度事業を対象としたスポーツ振興事業助成金実態調査の指摘事項に対する改善方策」の回答についての承認

理事の数9名、同意した理事の数9名

・第3回理事会

開催月日:平成30年11月26日(月)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成30年度事業の執行状況、平成30年度予算の執行状況、職務の執行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者の承認、規程の変更(案)の承認、積立資産の積立状況及び取崩方針の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名

議決に必要な出席監事の数1名、出席1名、欠席1名

・臨時理事会(書面評決)

開催月日:平成31年2月28日(木)

決議事項:公益目的事業の統合に伴う変更認定申請についての承認

理事の数9名、同意した理事の数9名

・第4回理事会

開催月日:平成31年3月12日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:新規加入会員及び退会者、平成30年度決算見込、理事の辞任

決議事項:平成31年度事業計画書及び収支予算書の承認、会長の選任、積立資産の変更の承認、規程の変更の承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認、役員を選任の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名

議決に必要な出席監事の数1名、出席1名、欠席1名

2. 公益社団法人の運営に関する情報公開

協会ホームページ及び掲示板を用いて、法人運営に関する情報を公開した。

3. 業務執行体制の整備と強化

理事9名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

4. その他

- ① 平成31年7月に開催を予定している「サマースカイフェスタ2019」に関し、「北門信用金庫まちづくり基金」事業に応募し、採択された。
助成金贈呈式:平成30年11月27日(火)
- ② 電動模型航空機世界選手権開催に伴い、外国人等の施設利用者の増加が見込まれたことから、「平成30年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策補助事業」を活用して、管理棟トイレの洋式化等の改修工事を行った。
- ③ 「グライダーの街たきかわ」をPRするため、JR滝川駅駅前広場に、グライダー1機(ICA IS-28B2)を展示した。この事業は、来年度以降も継続する予定である。
展示期間:4月16日(月)~11月2日(金)
- ④ 飛行機の整備を共通の課題とする機関が、連携して整備士の雇用、派遣を行うための整備に関する契約を結んだ。
 - ・構成団体:(公社)滝川スカイスポーツ振興協会
(株)NISEKO AVIATION
ピートエアインコーポレーション
 - ・契約期間:平成30年10月1日~平成33年3月31日
(以降、1年毎に更新)
- ⑤ ④の契約に伴い、整備業務が増加することから、新規に整備士1名を雇用した。
- ⑥ 北海道大学鳥人間研究会「北海道大学人力飛行機製作サークル Northern Wings」の試験飛行を支援した。
飛行日:7月14日(土)
8月4日(土)

※平成30年度事業報告書には、

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成31年 4月

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会